

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症

第9週に873件の報告があり、前週と比べるとほぼ横ばいです。

3月13日以降、マスクの着用は個人の判断にゆだねられます。ただし、受診時や医療機関・高齢者施設の訪問時、混雑した電車・バスに乗車する時などは、引き続きマスクの着用が推奨されています。

感染を再拡大させないためには、基本的な感染予防対策を続けることが大切です。

【参考】マスク着用の考え方の見直し(令和5年3月13日以降)(広島市)
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/319718.html>

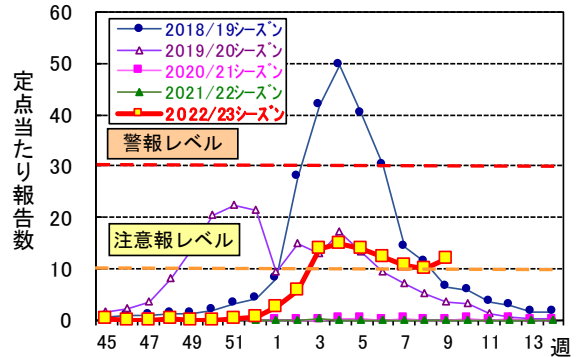
2 インフルエンザ

定点当たり12.00人の報告があり、前週と比べてやや増加しました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖の報告が、第9週に13件ありました。引き続き、手洗い、咳エチケットの励行、換気などの感染予防対策を心がけましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
 第9週 A型:102人、B型:0人

【参考】咳エチケット(厚生労働省)
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000187997.html>

インフルエンザの流行状況(広島市)



3 梅毒

今年の累計は41件となり、多い状況が続いています。梅毒は性的な接触により感染し、治療せずに放置すると、脳や心臓などに重大な病変を起こすことがあります。また、妊娠中に感染すると、胎児に感染し、流産、死産、先天梅毒を起こす可能性があるため、早期発見・早期治療が大切です。

【参考】保健センターの無料・匿名の梅毒検査(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/2986.html>

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	444	12.00	5.01	↗	小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.08	
	咽頭結膜熱	6	0.25	0.22			RSウイルス感染症	3	0.13	0.42	
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	0.54	1.97		眼科	急性出血性結膜炎	2	0.25	-	
	感染性胃腸炎	139	5.79	6.41	↗		流行性角結膜炎	2	0.25	0.38	
	水痘	1	0.04	0.19		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	-	-	0.13			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.21			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.11	
	突発性発しん	2	0.08	0.20			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.06			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.34	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
5	梅毒	6	41	20歳代・2人、30歳代・2人、40歳代・2人
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1	70歳代

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
報告数	広島市	57	9	11	212	6	1	-	6	1	1	-	-	5	-	-	-	-	-	-
	第5週	507	9	11	212	6	1	-	6	1	1	-	-	5	-	-	-	-	-	-
	第6週	457	5	17	192	4	-	-	7	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	第7週	392	4	11	182	2	-	-	2	-	-	8	1	-	-	-	-	-	-	-
	第8週	372	5	14	139	2	1	-	1	4	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
第9週	444	6	13	139	1	-	-	2	-	2	3	2	2	-	-	-	-	-	-	-
定点当たり	広島市	13.70	0.38	0.46	8.83	0.25	0.04	-	0.25	0.04	0.04	-	-	0.63	-	-	-	-	-	-
	第5週	13.70	0.38	0.46	8.83	0.25	0.04	-	0.25	0.04	0.04	-	-	0.63	-	-	-	-	-	-
	第6週	12.35	0.21	0.71	8.00	0.17	-	-	0.29	0.04	-	-	0.13	-	-	-	-	-	-	-
	第7週	10.59	0.17	0.46	7.58	0.08	-	-	0.08	-	-	0.33	0.13	-	-	-	-	-	-	-
	第8週	10.05	0.21	0.58	5.79	0.08	0.04	-	0.04	0.17	-	0.04	-	0.25	-	-	-	-	-	-
第9週	12.00	0.25	0.54	5.79	0.04	-	-	0.08	-	0.08	0.13	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-
全国	第7週	12.56	0.18	0.53	7.31	0.08	0.08	0.01	0.22	0.05	0.03	0.32	0.01	0.22	0.02	0.02	0.02	-	-	0.02
	第8週	11.32	0.16	0.47	6.20	0.07	0.07	0.01	0.19	0.05	0.03	0.31	0.01	0.17	0.02	0.02	0.01	-	-	0.01

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査：広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(37.6°C) 鼻炎	9	2023/01/24	鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(38.0°C)	5	2023/02/07	鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルスA(H3)型
感染性胃腸炎	嘔吐	2	2023/01/26	糞便	ノロウイルスG II
流行性角結膜炎	結膜充血 リンパ節腫脹 眼瞼浮腫	49	2023/01/20	結膜擦過物	アデノウイルス37型
その他の神経系疾患	下痢 脊髄炎 膀胱直腸障害	12	2023/01/25	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス7型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

■ 広島市における新型コロナウイルス感染症の発生状況(確定日で集計)

【第9週(2月27日～3月5日)】

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
106	105	115	128	130	106	82	56	45	-	873

【累計報告数(3月5日)現在】 ※2020年からの累計報告数です。

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
47,307	52,291	53,891	55,471	58,411	40,948	22,583	16,943	15,715	404	363,964

新型コロナウイルス感染症の相談窓口
コールセンター(積極ガードダイヤル) TEL:082-241-4566
全日24時間対応

* 新型コロナウイルス感染症に関する最新の発生状況、相談窓口等については、広島市ホームページ「新型コロナウイルス感染症に関する情報(<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>)」からご確認ください。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
 URL <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
 TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2023年第9週(2月27日～3月5日)